



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

The service club of the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB - CHARTERED MAY 17TH, 1948

主 題 (2013-2014)

- 国際協会会長(IP) Poul V. Thomsen (デンマーク)
"Go Ye Into All The World" 「全ての世界に出て行こう」
スローガン "Extension, Extension, Extension"
「エクステンション、エクステンション、エクステンション」
- アジア地域会長(AP) 岡野 泰和 (大阪土佐堀)
"Start Future Now" 「未来を始めよう、今すぐに」
スローガン "One Asia One World" 「ひとつのアジア、世界はひとつ」
- 西日本区理事(RD) 高瀬 稔彦 (岩国みなみ)
"Attmnd clubs meetings with a clear motive to make the most of them"
「志をもって例会に参加し、学びの機会を持ちましょう」
スローガン "Your experience makes you a good Y's man!"
「経験がワイズを育みます」
- 六甲部部長(DG) 山田 滋己 (神戸ポート)
『さらなる交流 さらなる国際 さらに活発な六甲部へ』
副題 <一つ一つの楽しい活動を原点にして>
- 西宮クラブ会長(CP) 堤 一幸
『65年目に感謝、そして新しい大きな第一歩を踏み出そう!』
"Let's start our new big first step and thanks, to 65years!"

2013年 7月 西日本区強調ポイント "Kick off/EMC-C"

「MCのCはCnservation. クラブの健全な運営をチェックして、メンバーの満足度を高め、入会者の目線で魅力のあるクラブづくりをめざしましょう!」

2013年 7月

第783号

<<67期-01号>>

Since 5.17.1948 →

5.17.2013 : 65周年

クラブ主役員

会 長 堤 一幸
副 会 長 山口 政紀
副会長(次期)
直前会長 長井 慎吾
書 記 馬場 一郎
書 記 廣瀬 一雄
会 計 山本 常雄
会 計 山口 吉郎
監 事 岩田 健司
担当主事 宗行孝之介
部 EMC 主査 小野 勲紘

・スポンサークラブ
大阪クラブ
・DBC 締結(2007)
近江八幡クラブ
広 島クラブ

為国 光俊 EMC 事業主任 (京都パレスクラブ)

2013年 7月第一例会のご案内

日時: 2013年 7月19日(金) 19時~21時

会場: 西宮YMCA保育園3階ホール

ドライバー: 浅野純一メン、堤一幸メン

- | | |
|-----------------------|--------------|
| 1. 開会点鐘 | 長井会長 |
| 2. ワイズソング・聖句朗読 | 一同 |
| 3. ゲスト・ビジターの紹介 | 長井会長 |
| 4. 会長・役員引き継ぎ式 | 長井直前会長→堤新会長 |
| 5. 食前感謝・会食 | 一同 |
| 6. 今期の活動方針・計画・新役員紹介他 | 堤会長 |
| 7. 前期会計報告・監査報告 | 足立直前会計、岩田監事 |
| 8. 今期の会計予算案発表 | 山本会計・山口(吉)会計 |
| 9. EMCアンケート | 小野EMC主査 |
| 10. お誕生日のお祝い | 堤会長 |
| 11. Y'sニュース・AYC支援金の贈呈 | 堤会長→家田リーダー |
| 12. YMCAニュース他 | 宗行館長他 |
| 13. 閉会点鐘 | 堤会長 ※BF・後片づけ |

ファンド・BFの累計

目標	6月	累計
ニコニコ ファンド	3,000p	♥35,600p
Brotherhood Fund(BF) 345 \$	5,400p	♥33,200p
BF 使用済切手 (前期 1200g)	0g	♥ 1,870g
東日本大震災支援ファンド 27,600 円	3,600p	♥39,200p
TOF・FF・EF・JWF 368 \$/345 \$/5,000 円	0p	8,000p

今月の聖句

わたしを苦しめる者を前にしても、あなたはわたしに食卓を整えてくださる。わたしの頭に香油を注ぎ、わたしの杯を溢れさせてくださる。命のある限り、恵みと慈しみはわたしを追う。主の家にわたしは帰り、生涯、そこにとどまるであろう。 詩編23編5節—6節

[大正元(1912)年12月18日 賀川豊彦先生(24)献身の動機となった備忘録「溢恩記」より・「杯の溢れる生活」] 小野 勲紘メン 選

6月 例会出席状況

第1例会(6.28金)

メン・ウイメン 22名
メネット・コメット 2名
ゲスト・ビジター 2名
合計 26名 make-up 1名

出席率 91.7%

[前月以前の修正]

4月 100%

累計 96.5%

在籍会員数 24名

第2例会(6.14金)

メン・ウイメン 14名
メネット・コメット 0名
ゲスト・ビジター 0名
合計 14名

(累計出席率 95.7%)

5月 91.7%

累計 96.1%

HAPPY BIRTHDAY TO YOU!

7月 6日 岩田 成子メネット 7月16日 濱崎 保津美メネット
7月20日 藤原 百合子ウイメン、

〒662-0977 西宮市神楽町5-23 西宮YMCA内

TEL:0798-35-5987 FAX:0798-23-6170

西宮クラブホームページURL: <http://www.kobeymca.org/ys/nishinomiya/html> (YMCA経由)

<http://www.kobeymca.org/ys/nishinomiya/index.cgi> (西宮公式HP)

西日本区ホームページURL: info@ys-west.or.jp (理事通信、事業主任通信、各種資料、各クラブ他)

《交通》西宮YMCA

・JRさくら夙川駅下車南へ

国道2号線渡りGS南裏

・阪急夙川駅南へ 600m

・阪神香櫨園駅北へ 400m

我らのモットー：To acknowledge the duty that accompanies every right !
(強い義務感を持つ、義務はすべての権利に伴う)



第16回東日本区大会開催(2013年6月8日(土)~9日(日))
花巻温泉ホテルにおいて宮古ショップを開店し、11万円を超える売上を戴きました。皆様のご協力に感謝いたします。
左から宮古いきいきフェア実行委員会の仲田さんと昆野さん(前の女性)、石井ウィメン、山本メン、濱崎メン、長井会長、馬場(一)メン、他に山口(政)メン、山口(洋)メネット、小野メンの計8名。(東日本区大会の全参加者数は490名)



第16回西日本区大会開催(2013年6月22日(土)~23日(日))
ウェスティン名古屋キャッスルホテルで宮古ショップを開店。こちらも10万円を超える売上を戴きました。皆様ご協力ありがとうございました。活動を評価いただきこの度「地域奉仕・環境事業優秀クラブ賞」を授賞いたしました。重ねて御礼申し上げます。
左から小野メン、廣瀬メネット、山口(洋)メネット、長井会長、浅野メン、廣瀬メン、足立メンの皆さん計8名。(西日本区大会の全参加者数は823名)

【会長メッセージ】

2013-14年度 西宮クラブ会長 堤 一幸
「みなさんと共に」



「早かれ、遅かれ」この日が、この日がやってきました。西宮YMCAユースリーダー時代、ワイズメンズクラブの活動を遠く(?)から見ていた自分が懐かしと思う今日この頃です。ユースリーダーを卒業し、「ワイズって？ 例会って？」と母親に聞かれる事もありました。そして、月日が流れて西宮ワイズメンズクラブの会長という、大役を担うことになりました。

そんなある日、他のクラブの時を同じくして会長をされる方とお話した時の一言が胸に刺さりました。それは会長というのは、「クラブの上に立って、〇〇だ！」とメンバーを抑えこむのではなく、「クラブを下から支えて、メンバー一人ずつのサポーター役」と教えて頂きました。その言葉に我にかえった気持ちにさせられました。6月ブリテンの聖句(コリントの信徒への手紙 第一 第12章 20節以下)にもあるように、「あの人は△□だから・・・」や「この人は☆井だから・・・」という考えを「あの人のあれを・・・」等とクラブメンバー一人一人の個性を十二分に発揮できるようなお手伝いをさせて頂こうと考えています。

先日、サッカー・ブラジルワールドカップを決めた本田選手の記者会見では『弱くなったときこそ、「個の強化」が必要』と語っていました。確かに病弱でひ弱な私で、みなさんをお支えできるとは思いません。みなさんも堤に支えられるのは大変不安を感じられるでしょうから、みなさんで、この2013-14西宮ワイズ

メンズクラブ」を支えあって、歩んでいきましょう。そして、最後に、「西宮ワイズメンズクラブの会長、いつやるの？ 今でしょ！」少々楽な気持ちにさせられる一年を過ごしていきたいと思います。宜しくお願い致します。「2014年7月例会で会長バッジ交換ができるのを夢にみつ・・・」

【第一例会報告】

ドライバー：長井 慎吾メン、山本常雄メン

6月の第1例会は、6月22-23日開催の西日本区大会との日程調整の関係で第4金曜日に変更し実施された。年次総会ということで、今期の活動報告の承認と次期活動方針の紹介・承認という議事が主題でありましたが、3月実施のタイワークキャンプ参加の三田センターユースリーダーの林徹哉君が参加報告をしてくれました。言葉の問題はあったが、それ乗り越えて現地のホームステイ受け入れ先の方や同年代の若者との交流に感動を覚えたことや、ストリートチルドレンとの交わりの中から自分たちの出来ること・できないこと・一緒に何かを遣って行きたいという感情が芽生えたこと等熱く語られました。今年は日本からの参加が5名と少なかったが、自分のこの良き体験を後輩たちに伝え、次年度以降多くのユースが参加できるようにしたいと締めくくられました。



また「はんしん自立の家」の石田英子施設長がお見えになり、施設の生い立ちや概要説明と8月8日三田市総合文化センター

「郷の音ホール（定員 1000 名）」で開催のストラディヴァリウスチャリティ・コンサートへのお誘いのアピールがありました。

本題の活動報告で長井会長は、①例会を食事の工夫等で楽しく、高出席率で推移できた事（出席率 90%以上達成賞獲得）、新入会員も1名獲得できたこと、②東日本震災復興支援を継続発展させた事（地域奉仕・環境事業で「奉仕活動の優秀クラブ賞」表彰受賞）宮古いきいきフェア実行委員会取扱商品の前年度売上30万円弱に対し、当年度65万円（目標35万円）達成した、③クラブの中核事業として YMCA 活動を立ち上げたこと等を成果として報告され、65周年記念例会を厳かに開催したこと、アジアユースコンペにユースリーダー1名を推薦できたこと、他に西日本区大会で「AYC 協力賞」（Y サユース事業）、「Y サ/ASF 献金 100%達成賞」（ファンド事業）受賞の報告があり、全員の拍手で活動報告が承認された。

続いて足立会計より12-13年度通常会計並びに、特別会計の仮決算報告があり、大筋で承認されました。確定値は7月1日以降に監事による監査を受け、7月第一例会時に再報告されます。

次に堤次期会長より2013-14年度活動方針・計画(案)の説明があり基本的には長井現会長の方針を継承しながら、地域へ(から)の発信と連携・協働や学生 YMCA との関わりを模索したいという方針で、具体的には次年度役員会等に諮りながら進めていくということで了承されました。堤次期会長の方針に加えて、役割分担案と1年間の行事予定案の説明があり、特に、2014年1月～6月は、期間限定で、第一例会日を第二金曜とし、第二例会を第四金曜とする案が提示されました。それに伴う次年度予算(案)について次期会計山本メンより説明があり、特別会計の LD 支援の項については LD 支援等に文言を追加して承認されました。

最後に土橋メンより1年間ではあったが、クラブライフを楽しく過ごさせて頂いたが、個人的な理由(他団体の業務多忙)の為に継続が困難となり今期末をもって退会したい旨説明があり、承諾され再入会を祈りつつ、拍手で労をねぎらいました。

出席者は浅野、足立、石井、岩田、岡田、小野、阪根、堤、土橋、長井、西山、馬場(一)、馬場(貴)、濱、廣瀬、藤原、万本、宗行、山口(政)、山口(吉)、山本の各メン・ウイメン計21名。宮地、山口(洋)の各メネット。合計23名。ゲストは「はんしん自立の家」の石田英子さん、三田センターの林 徹哉リーダーの2名。総勢25名でした。(山本 常雄)



タイワーク報告中の林徹哉リーダー 「阪神自立の家」のアピールをされる石田英子さん



今期の活動報告中の長井会長 宗行館長へLD教育資金の贈呈

【第16回西日本区大会 in 名古屋】

廣瀬 一雄メン

6月22(土)ー23(日)に名古屋能楽堂とTHE WESTIN NAGOYACASTLE を会場として四日市クラブ・名古屋クラブのホストで西日本区大会が開催されました。



先の東日本区大会にも報告のように西宮から多数の参加があり、今回の名古屋へは若干出席者も分散済み。浅野、足立、小野、長井メンと山口政紀メン・メネットと廣瀬メン・メネットの8名の参加でした。

区大会へは八百名以上の参加と賑わいをみましたが、残念ながら第一日目のセレモニー会場の能楽堂は定員が六百名あまり。午前のメネット会に小野メンと参加していた廣瀬メネットは午後の会への出席をバスツアーで間引かれ徳川園などの観光に。パナーセレモニーでの能舞台上に立った長井会長の白足袋姿も来賓祝辞で来られた、河村たかし市長の“減税プシ”も聞けず。メモリアルアワーでは神戸ポートの石坂メン、宝塚の今西メンそして名古屋の成瀬理事の皆さんの御顔をみてご冥福をお祈りいたしました。奈良傳賞の表彰式があり宝塚クラブの三品ミチ子メンが表彰を受けられました。大阪クラブで二回も会長をされていたそうで、4年前に宝塚クラブに転会され、元気一杯！クラブとともに活動されておられるようです。

親クラブの西宮も長井会長を先頭に頑張りました。その西日本区での表彰項目はさきの6月例会でも報告がありましたが4個

。特に地域奉仕・環境事業では奉仕活動に貢献した優秀クラブで、各クラブの中では京都グローバルと西宮でした。



宮古でのいきいきフェアへの支援が評価されたのでしょうか。そしてその宮古物品販売もホテルでの懇親会会場で料理とお酒を横眼に見ながら販売し2日目は会場前ロビーで売りまくりました。写真はヒト段落した時のワンショット。

さて来年は岩国での大会です。高瀬理事のキャビネットに広島クラブの益国書記、呉クラブの渡邊事務局長、メネット事業事務局の会計に広島藤川メネットとまだまだ沢山のお知り合いに会

えるのを楽しみに是非揃って参加しましょう。あ、忘れてました・・広島クラブは片岡メンが会長でした。(写真はプリテン第二部に)

【第16回東日本区大会 in 花巻】

馬場 一郎メン



2013年6月8日(土)～9日(日)、岩手県花巻市においてワイズメンズクラブ国際協会第16回東日本区大会が「忘れてたまるか3. 11～あの時の絆を」というテーマのもと盛大に開催されました。西宮クラブから長井会長、山口政紀メン・洋子メネット、山本メン、濱崎メン、小野メン、石井ウイメン、私馬場が参加しました。

駒田東日本区理事による開会宣言・点鐘の後、ワイズソング、聖書朗読・祈祷、そして今回ホストを務められたもりおかクラブ会長、古澤伸メンのご挨拶が行われました。もりおかクラブが少数精鋭でがんばられ、盛岡YMCAがサポートされて手作り感が感じられる大会でした。来賓として岩手県知事達増拓也氏、アジア会長オリバー・ウー氏、日本YMCA 同盟総主事島田茂氏、西日本区理事代理として高瀬稔彦メン、各々がお祝いの言葉を述べられ、その後、年次の報告がなされました。また、記念講演会として「震災から復興へ」と題して陸前高田市長、戸羽太氏のお話をお聞きし、震災現場からの熱い怒りの報告がなされ、感銘を受けました。

西宮クラブはこの8日のセレモニーの間、会場入り口に設けられたブースで宮古の製品を売り続けました。この日は「いきいきフェア実行委員会」から昆野さん、仲田さんにも応援に来ていただき、一緒に販売をすることができ、芦屋クラブや高瀬メン、また地元？のご協力があり、110,350円を売り上げることができました。その後の晩餐会でも、昆野さん、仲田さんと共に舞台上で宮古支援を訴え、東日本区のみなさんにもアピールすることができました。舞台上、長井会長が熱く、熱く語ってくださいました。みんなの思いが感じられた時でした。

山本メン、濱崎メン、小野メン、私の4人は大会2日目に参加の4人を残して次の日、日本基督教団宮古教会、宮古ボランティアセンターを訪問、田老地区、田老観光ホテル、ハックの家をまわり、現地に宿泊後、帰途につきました。

今回私自身は大会のプログラムにあまり参加できなかったのですが、大会自体の報告があまりできませんが、今大会はもりおかクラブ、盛岡YMCAのチームワークとがんばりが感じられた大会でした。西宮クラブとしては昆野さんや仲田さんに大会を通してワイズメンズクラブのことを理解していただき、また一緒に販売できたことで「思い」を共有できた大会であったと思っています。みなさんお疲れ様でした。(大会の写真はプリテン第二部に掲載)

【触主面 (フレッシュメン) 登場25】

浅野 純一メン

2009年3月に教職公務員の仕事を定年退職しました。殆どの方々が再雇用に就くなか、職場仲間から、

半分うらやましがられ、半分、「何をするのか、サンデー毎日に耐えられるか」との声のなか高校教員としての仕事に燃え尽きたのか？、若い人に譲らなければとの思いもあり、完全に退職しました。



退職後の重要な過ごし方の一つとして、御影のユースプラザで、一般の方々対象に世界史・日本史の通史の講座を持たせていただき、お陰様で4年目になります。今年から講座は一月に一度にして、歴史講座の内容を文章化することに取り組んでいます。

文書化は大変な作業で世界史全般を書くには最低4年はかかりそうです。日本史をもととなると、さらに最低3年はかかりそうです。少なくとも60歳代は健康で作業に従事したいと思っています。

ところで、高校時代は、文科系、理系を問わず学問分野の基礎となるところを、広く学ぶ最後の機会です。しかし、受験科目として選択しなければ勉強せずに高校を卒業してってしまう方が多数です。歴史に関していえば、歴史小説はよく読まれ、また歴史を訪ねての旅行も盛んです。そのような方々から歴史的背景を知りたいとのお声があり、歴史全体を把握していただくための講座をひらきました。そして、今度は、より多くの方々に読んで頂くようにとの思いで文章化に取り組み、いま、端緒についたばかりです。教員仲間からは「全体を記述する、そんな大変なこと」といわれ、さらに、確かなものができるのかとの批判も頂いています。資金的な余裕があれば冊子程度にしたいと思いますが、これは夢かもしれません。

最後に、一言いわせていただくと、歴史はヒストリー、つまりストーリーなのです。それぞれの歴史記述はある見方から組み立てられています。現在書く歴史は、どうしても現在の価値観から組み立てられている傾向にあります。私はそれを排除して、各時代の人々が生きた時代そのものを大切にしながら書いていきたいと思っています。

【Y'sニュース】

長井 慎吾 直前会長

1. 65周年記念例会報告資料のHP掲載

5月18日の65周年記念例会で報告した「西宮ワイズメンズクラブ65周年のあゆみ・西宮YMCAと共に」をクラブホームページの「資料庫」に掲載して頂きました。再読及び、広く周知をお願いします。

2. 東日本区、西日本区大会での宮古ショッパ販売

6月8日～9日の東日本区大会では、宮古のいきいきフェア実行委員会の昆野さん、仲田さんと協働で販売を行い、文字通り「顔の繋がる活動」でした。売上は、約11万円でした。大会の壇上で東日本区の方々にいきいきフェア実行委員会をご紹介します。アピール出来ました。続いて6月22日～23日の西日本区大会でも販売を行い、売上

は**10万4千円**でした。この2大会で、21万円を超える成果でした。皆様ご苦労さまでした。

3. 年次代議員会報告

6月22日(土)10時半より、ウエスティン名古屋キャッスルホテルにて、今年度の年次代議員会が開催され、長井が出席しました。13の議案が審議され、全て承認されました。トピック的なものを以下に報告いたします。

- ・西日本区次期理事は、岩国みなみクラブ高瀬稔彦ワイズに承認。次期理事は、大阪西クラブ松本武彦ワイズが承認されました。書記は、広島クラブ益国隆人ワイズ、会計は、広島クラブ山本晶子ワイズです。
- ・西日本区理事方針案として、主題「志しをもって例会に参加し、学びの機会をもちましよう」、副題「経験がワイズを育みます」とし、クラブの魅力を磨き、新たな成長に繋げていきますとの方針案を提示され承認されました。大変分かり易い主題、方針であると感心しました。
- ・理事の任務につき、現職の理事が議会出席や傷病等の理由で一時的に理事の任務遂行が困難な場合は、次期理事に指示し、理事の任務を代行させることができる案が承認されました。直前理事は、理事職が空席になる状況が発生した場合は、役員会又は、常任役員会の承認のもとに、理事代理として理事の任務を遂行する案が承認されました。代行と代理の違いが明確となりました。
- ・2015～2016年度、第26回アジア大会開催地とホストクラブの件が提案され、京都パレスクラブがホストクラブとして承認されました。アジア大会は京都で開催。

4. 土橋ワイズ退会の件

土橋ワイズにおかれましては、お仕事の諸事情により6月末をもって退会されました。1年間と短い間でしたが、会計を担って頂き活躍頂きました。残念ですが、やむを得ないご事情とのことでした。

【一年を振り返って】

長井 慎吾 直前会長

一年間、クラブメンバーのお支えがあり、自分がイメージした活動が出来たと感謝いたします。ありがとうございました。活動を振り返ってみますと、「**変化**」、「**連続性**」、「**基軸**」などの言葉に留意していたと思います(少し固い表現ですが)。「**変化**」は、例会の食事内容を変えたこと。少ない予算で、藤原ワイズと石井ワイズにはが1年間を通じて奉仕いただきました。メニューは一貫して担って頂いたことで「**連続性**」が現れていたと思います。

また、メンバー勧誘リストや、宮古販売目標額などの活動に具体的な数値目標を掲げて活動したことも「**変化**」の一つです。概ね良い方向で結果が出せたと思います。

1年間の例会は、主題である、「親睦と奉仕(YMCAサービスの実践)」に一貫させたことで「**連続性**」を持たせました。親睦は、メンバー同志の内なる親睦から、リーダーやYMCA職員など周囲

の親睦から、六甲部、DBCへと展開しました。

「**基軸**」は、YMCAの課題を共に考えたり、ユースリーダーのリーダーシップを体験するなど、私たちの活動の原点である“こどもと青年のより良い成長を願い共に活動することでやりがい共有すること”です。特に、ファミリープログラムを中核事業として位置づける橋掛かりができたのではないかと思います。

また、65周年記念例会で、先達の足跡をたどり、YMCAと共に労苦を乗り越えてきたことを共に確認したことで、私たちの「**基軸**」を共有できました。

このように、私たちの活動には、ぶれない「**基軸**」と「**連続性**」を持ちつつも、よりよい方向へ「**変化**」をしていくことが必要であると思います。

【YMCAニュース】

西宮YMCA館長 宗行 孝之介メン

いつもYMCA運動をお支えいただきありがとうございます。空梅雨といわれながらも結局神様は帳尻を合わせてくださり、何とか水不足も免れそうです。



さて、夏の受付が始まり、また沢山の子どもたちが申し込んでくれました。公益法人のからみで行政庁からYMCAのキャンプ・野外活動は「**旅行業**」にあたるということで**県に旅行業登録**をしないといふことで、3月末に登録を済ませ、結果として兵庫県、神戸市・芦屋市・西宮市の各教育委員会の後援をいただけることになり(こうなると各小学校でYMCAのパンフレットをクラスごとに配布してもらえます)、なんとか昨年度よりは良い募集になろうかなということで、スタッフ・リーダー一同さらに努力しているところです。

さて、イギリスの詩人ワーズワースは「子どもは夏に育つ」と言っていますが、まさしくひと夏を過ぎた子どもは確実に成長していることがわかります。たぶんそれぞれの成長の「通過儀礼」を経たからでしょう。その「通過儀礼」は親子の関係の変化でありましょうし、あるいは友達関係の変化であるかもしれません。さらには自分自身との新たな出会いかもしれません。

旧い本ですが「森の少年」(マイケル・ドリス著、新潮文庫)という小説があります。主人公の少年は決して豊かではない両親が、見知らぬ人々を食事に招くこと(それも収穫祭の日)に気に入らず、衝動的に「森の時間」を始めてしまいます。「森の時間」とは成人前の男子がかならず通らなければならない儀式で、ひとりきりで深い森の中に入って自分自身と対決する冒険のことです。彼はその日たっぷり恐怖を味わい、しかし日頃気付かない自然の事象や、自分自身に気付きます。夜になって両親の元へ帰った彼はもはや前の少年ではなくなっていたというのがあらすじです。かれはそこで少年から青年への通過儀礼を経験するのです。

YMCAキャンプはおなじようにそこに集う大人も子どももさらに成長させてくれる通過儀礼でありたいと思っています。

【今後の予定】

★ドライバーの予定(敬称略)

7月(浅野・堤)、8月(廣瀬・宮地)、9月(岩田・宗行)
10月(足立・馬場貴)、11月(長井・万本)、12月(阪根・丸山)

7月の予定

7月5日(金)第二例会(兼役員会)、7月13日(土)第1回評議会、7月19日(金)第一例会(キックオフ例会) ドライバー:堤メン、浅野メン

8月の予定

8月1日(木)～6日(火)第25回アジア地域大会(フィリピン)、8月2日(金)第二例会(兼役員会)、16日第一例会(六甲部部長公式訪問日)

9月以降の予定

9月6日(金)第二例会(兼役員会)、9月7日(土)六甲部会(兼神戸ポートクラブ25周年記念例会)神戸クリスタルホール、9月20日(金)第一例会ドライバー:岩田、宗行、9月-10月各部部会、10月じゃがいもファンド、10月チャリティゴルフ、10月27日(日)西宮YMCA合同カーニバル、11月4日(月祝)チャリティラン、11月23日(土祝)ファミリープログラム

♥第25回アジア地域大会(フィリピン・マニラ)[8月1日(木)～6日(火)、大会は2日-4日] 小野メンが参加。

♥「地域奉仕・環境事業優秀クラブ賞」に輝く！



地域奉仕・
環境事業優
秀クラブ賞

第16回西日本区大会において、西宮クラブは「地域奉仕・環境事業優秀クラブ賞」はじめ以下の賞を授与されました。左からAYC協力賞(Yサ・ユース事業、西宮YMCAから家田リーダーを派遣)、出席率90%以上達成賞(EMC事業)、Yサ・ASF献金100%達成賞(Yサ・ユース事業)、地域奉仕・環境事業優秀クラブ賞(地域奉仕・環境事業、誤植があり修理中)

特に出色は今期で過去3期連続で「例会出席率90%以上達成賞」は価値のある授賞で、お一人おひとりのご努力の賜物と感謝いたします。今後も、更に会員増強と、この賞を継続出来るようご精勤をお願いいたします。(次期EMC事業主査・小野勅紘)

16名20さ25ポ127神戸Y65西25宝15芦

- ・さんだ20周年:2/2バレンタインコンサート(終了)
- ・神戸ポート25周年:3/2平和コンサート(終了)
- ・芦屋15周年:4/21記念講演会(終了)
- ・広島65周年:4/20～21(終了)
- ・西宮65周年:5/18(終了)・宝塚25周年:5/25(終了)
- ・神戸ポートは六甲部会に兼ねて9月に記念例会
- ・さんだは10月に記念例会

「西宮クラブ65周年の歴史」を西宮クラブのホームページにアップいたしました。是非ご覧ください。

【編集後記】

2012-13年度は長井会長のもとで、多くの活動を経て無事終了し、新しい2013-14年度を迎えました。特に前期は東日本被災地域の支援に力を入れて、その纏めとして東西両日本区大会に参加したことからプリテンのボリュームも6ページになりました。活動が盛んになり、プリテンの内容が充実することはむしろ喜ばしいことと容認したいと思います。今期は新しく体格も性格も偉大な青年理事を迎えました。西宮クラブも做って若返り、大きく飛躍したいものです。おりしも我がクラブも新理事に呼応するように青年会長のもとにスタートしました。併せて飛躍の年になり、皆様とともに「想いを形に」「共に喜ぶ」1年でありますよう祈ります。(プリテン委員)